

特定非営利活動法人 ゆうゆう

「ゆうゆう」って？

北海道医療大学の学生が主体的に地域住民や関係機関との連携のもと、当別町の福祉とまちづくりの推進という目標を掲げ、2002年5月に開所しました。

2006年10月には事務所を移転し「ノーマライゼーションセンターによきによき」として新たな活動を展開するとともに、11月には江別市児童デイサービスセンター「kaede」、江別圏域学生ボランティアセンター「CO」も開所しました。今現在、約700のボランティアさんが在籍し、さまざま実践をすすめています！

どんな活動するの？

たとえば・・・

□ 児童デイサービスセンター『amaririsu』や、江別市児童デイサービスセンター『kaede』では、放課後支援や余暇支援などのサービスを行いながら、障がいを抱える子ども達が日常生活における基本的な動作を習得したり、また地域の子ども達とのふれあい、活動できる場、育ち合う場となることを目指して活動を行っています。夏や冬、春休みの長期企画には毎年学部学科にかかわらず、多くの学生ボランティアが参加し、一緒に子供たちの活動の幅を広げながら充実を目指して楽しく過ごしています！

□ 居宅介護事業所 ajisai

土曜・日曜・祝日など、屋外での移動に困難がある障がい者や障がい児の方に外出のため支援を行います。また、児童デイサービスでも過ごしている事業所で一緒に遊んだり近隣の公園、スタッフと一緒に「モエシ沼公園」や「レジャスポ」などに行ってお楽しみしています！その際に学生の方がボランティアとして参加し、一緒に楽しく過ごしています！

□ 当別町ファミリーサポートセンター

当別ファミリー・サポート・システムとは、協力会員（育児の手助けができる人）が利用会員（育児の手助けが必要な人）の子どもを預かり育児を手助けするという仕組みです。ちょっと用事が…誰にも子どもを預けることができなくて…など、いろんなニーズに対応して支援をしています！

利用するお子さんが、0歳～小学校6年生までおり、**元気いっぱい小学生は学生さんのように力のある方と過ごしたいと話すお母さんたちが多いです！みなさんも、参加してみませんか！**

新しい拠点が2つ出来ました♪

□ 当別町共生型地域オープンサロン □

2008年8月に、石狩郡当別町の駅前通り沿いに障がい者就労と地域交流の拠点として開設しました。このサロンは「共に生きる社会づくり」を目指し、子供や高齢者、大学生、障がい者などあらゆる地域の住民が集い、交流することで地域住民同士が相互に理解を深め、つながり合うことを目的としています！



◇ どんな活動をしているの？

- ・喫茶店と駄菓子屋さんを行っています！厨房ではドーナツやクッキーを作り、こだわりのあるコーヒーやココアも取り揃えて販売しています。また、「一日コックさん」という地域住民がサロンの厨房を使ってランチを不定期で提供しています！
- ・地域の子どもたちを対象とした駄菓子屋さんオープンスペースを子どもたちの遊び場にするにより、高齢者や障がい者、地域住民との交流を推進しています。また、高齢者ボランティアが障がい者への就労支援で指導的役割を担い、駄菓子屋でふれあう子どもたちへ文化的なことを教えるなど、自らの人生経験を活かせる機会を創出し、高齢者自身が元気に活動できる場を提供します。

□ 当別町共生型地域福祉ターミナル □

サロンと同じく2008年8月にオープンし、地域福祉の拠点として福祉に関する情報を集約し、障がい者、高齢者、子どもに対して一体的にサービスを提供することを目指しています。



これまでは、高齢者等地域のボランティア、学生ボランティアは別々に活動していましたが、ターミナルが出来たことで「ゆとろ」にあった社会福祉協議会ボランティアセンターを地域福祉ターミナルに移し、コーディネーターを置くことによって、一体となった総合的なボランティアセンターを創出します。また、会議などを開催できるスペースを作り、各種サークルや団体の活動場所として利用してもらうほか、スペースの一部に絵本や遊具を設置して子育てママの集いやサークルの活動場所を設置します。このことにより、高齢者ボランティアや学生ボランティアとの世代間交流を生み出すことを目指します。

ボランティア活動をした方に対して、当別町ポイントカード会が実施しているアウルカードに点数（30分1ポイント）をつけることによって福祉を活かしたまちづくりに取り組んでいます！

問い合わせ先

特定非営利活動法人
ゆうゆう

TEL : (0133) 22-2896

Mail : yuyu24@cup.ocn.ne.jp